

# 令和2年度第2回あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会 会議録要旨（各委員の意見）

令和3年1月28日（木）

（上記日程を書面会議に変更して開催）

## 1 議題

第2期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について

## 2 書面会議資料

- ・【資料1】第2期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案)(令和3年1月現在)
- ・議題説明文
- ・【参考資料】あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会委員名簿

令和2年度第2回あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略委員会（書面会議）における各議題の要旨及び各委員より提出されたご意見は次のとおりです。

### 第2期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について【資料1】 （議題要旨）

#### 全体

現在の第1期総合戦略を見直して、令和3年度～7年度の5年間の「第2期あま市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定するための素案である。

今回は2回目の会議となり、書面により御意見をいただいた後、2月9日から3月11日までパブリックコメントを実施する。

最後の第3回委員会で最終案を確定し、今年度末までに第2期総合戦略を策定する。

今回は、前回の資料から内容が変わった部分（青字部分）を中心に説明する。（赤字部分は、第1期から変わった部分）

SDGsについては、本戦略に関連させて相乗効果を図るため、施策ごとに17の目標の中から関連する番号のアイコンを掲載している。

## 2 基本目標と施策（P4）

4ページ【戦略の体系】＜施策（案）＞の一番上、基本目標1の「(ア) 商工業の振興と人材の育成」は、前回「人材の育成と働く場の確保」だったが、「商工業」という言葉を入れてほしいとの意見を反映して「商工業の振興と人材の育成」とした。

## **基本目標 1 人材としごとをつくり、安心して働けるまちをつくる (P5)**

### **(ア) 商工業の振興と人材の育成 (P5)**

5 ページには、文章に、市内各産業の課題とされる「高齢化の進展」や「事業継承」の言葉を追加した。

6 ページ、事業の表の上から 6 番目、「女性の起業推進事業【新規】」の内容欄を追加した。国（経済産業省）の「女性起業家支援連絡会議」（令和 2 年 1 2 月 4 日設立）に市が参画し、女性の起業・創業の活性化を図っていく。

下から 3 番目の「企業に対する相談体制等整備事業」では、テレワークなどのコロナ禍の労務管理、新しい生活様式、働き方改革など雇用・労働関係の情報提供を関係団体と連携しながら行っていく。

一番下の、「U I J ターン支援事業【新規】」は、国の交付金の対象事業であり、来年度から支援対象者が拡大されるので、今後柔軟に対応できるよう 2 行目に「などの要件を満たした人」という言葉を追加した。

### **(イ) 地場産業の活性化 (P7)**

SDGs のアイコン 9 番「産業と技術革新の基盤をつくろう」を追加。  
前回と大きく変わった箇所がないので、説明省略。

### **(ウ) 農業の振興 (P7)**

SDGs のアイコン 9 番「産業と技術革新の基盤をつくろう」を削除。  
その他は、前回と大きく変わった箇所がないので、説明省略。

## **基本目標 2 あま市への人の流れとつながりをつくる (P9)**

### **(ア) 市の魅力の発信と知名度の向上 (P9)**

SDGs のアイコン 1 7 番「パートナーシップで目標を達成しよう」を追加。  
その他は、前回と大きく変わった箇所がないので、説明省略。

### **(イ) 観光まちづくり (P10)**

SDGs のアイコン 8 番「働きがいも経済成長も」を追加。

SDGs のアイコン 1 7 番「パートナーシップで目標を達成しよう」を追加。

【基本的方向】の記載を追加し、本市の観光資源を様々な手法で PR することと、観光協会を中心に、商工会、農協、その他関係団体と連携し、本市の観光を振興するとともに商工業・農業などの市内産業全般を相乗的に振興していく方向性としている。1 1 ページには、その内容を事業に反映した。

## **基本目標 3 子育て世代の希望をかなえるまちをつくる (P12)**

### **(ア) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり (P12)**

KPI を一つ追加した。生涯学習課が実施する家庭教育推進事業の一環で、家庭教育への「協力企業登録制度」を設けており、この制度への登録企業を増加させることで、

企業も一緒になって家庭教育を推進していくため、K P Iの一つとして追加した。

14ページ、上から3番目の「家庭教育推進事業【新規】」の内容欄に、先ほど追加したK P Iに関連する内容を追記した。

#### **(イ) 学校教育体制の整備 (P14)**

K P Iを全て変更した。以前は、「子どもが学校生活を楽しんでいる割合」と「親から見て子どもが学校生活を楽しんでいる割合」、「不登校児率」の3つのK P Iだったが、学校を楽しんでいるという定義があいまいであり、数値の集計が難しいということと、不登校児率は、不登校に対する考え方が変わってきていることから、それぞれK P Iを変更した。

1つ目は、「教育相談センター（ビリーブ）に登録し、不登校が改善された割合」として、不登校を改善しようと教育相談センターに登録している児童・生徒のうち、学校への完全復帰、一部復帰などの改善が見られた割合を指標にした。

2つ目は、学校の先生側の視点に立ったK P Iとして、今年度一人一台のタブレット端末を整備することから、それを活用した授業の割合を90%まで高めることを目標として設定した。

15ページの事業の一番上に「(仮称)小中学校のあり方検討事業【新規】」を追加した。これまでは、「小中学校の規模適正化の検討」を事業としていたが、これを見直して、今後は市全体で学校のあり方を検討し、市の一体感を醸成する新たな基本的な方針を策定することを事業とする。

上から2番目の「教育立市プラン改定事業【新規】」を追加した。既存のプランを大幅に改定する予定。

### **基本目標4 健康で安心して暮らせる、時代に合った魅力的なまちをつくる (P16)**

#### **(ア) 安全・安心なまちづくり (P16)**

SDG sのアイコン16番「平和と公正をすべての人に」を追加。

17ページの事業を一つ追加した。前回の委員会の意見を受け、17ページ上から6番目の「地域防犯力強化推進事業【新規】」として、あま市防犯協会の事業、特に防犯カメラの設置による効果的な防犯活動により地域の防犯力を強化していく。

一番下の市民病院は、内容の文面を変更したが、趣旨は変わっていない。

#### **(イ) 生きがい・活力を高めるまちづくり (P17)**

SDG sのアイコン10番「人や国の不平等をなくそう」を追加。

その他は、前回と大きく変わった箇所がないので、説明省略。

#### **(ウ) 持続可能な都市基盤の整備 (P19)**

事業の上から6番目の「環境に配慮した新庁舎の整備事業【新規】」を追加した。令和5年5月開庁を目指している新庁舎は地中熱、太陽光の活用により、省エネ、かつ環境にやさしい建物であることから、SDG sにも貢献できる持続可能な都市基盤施設とし

て考えられるため。

### **(エ) 鉄道利用の促進と駅前のにぎわいづくり (P20)**

前回と大きく変わった箇所がないので、説明省略。

### **(オ) 郷土に誇りと愛着が持てる、魅力あるまちづくり (P21)**

K P I の上段に「「あまつり」来場者数」とあるが、来場者の数にこだわるのではなく、他の効果的なK P I (あまつり以外も含む) を設定したいので、効果的なK P I の設定に向けた御意見をいただきたい。

## **(委員意見)**

### **【全体について】**

- ・名古屋市に隣接しているあま市は、中短期的に人口減少が進行することはないと考えられるが、名古屋市郊外という立地条件を活かした新世代の産業(雇用の場)を創出する種を考えるべき。I C T人材育成や観光産業従事者及びその仕事場の創出事業を手掛けることを考える時期ではないか。

- ・様々な視点から幅広く事業が整理されている。ただし網羅的であるがゆえに、まちの力点の置き所が不明瞭に感じる。様々な事業が絡み合いながらどんな変化をまちに生み出して行くのか、ストーリー性とゴールイメージがもてるといいと思う。各事業が単独にありつつ、互いに関連もし合うと思うので、各事業のつながりと、どんなまちにしたいかという行政の方向性を総合計画などと関連づけながら示せるといいのでは。(人口減少に対応しながらどういう将来像を描いていけるかということ。)

目標値については、地に足のついたものか、実現可能なものか、根拠が見えづらいものがあるので、目標設定の理由が見えるといいのでは。例として「P8 集積農地」、「P9 転入者数」など、できれば全体的に目標の理由や目安、根拠を可視化してほしい。

### **【基本目標1について】**

#### **基本目標1 - (ア) 商工業の振興と人材の育成**

##### **P6【事業】「創業支援事業」**

- ・「創業支援事業」は、現状縮小されている。以前は、国の補助金を活用して幅広い世代への創業支援の提案事業を実施した。さらに事業の拡充を目指し、若い世代(新成人)と市内事業者とのネットワークづくり、インキュベーション拠点機能など、多角的な創業支援事業を進めたいが、現時点では実施の見込みがない。

あま市の好立地を考えれば、地方創生、アフターコロナによる働き方の転換期といえるタイミングをうまく利用して事業を進めれば、あま市での創業希望者を市外から呼び込める可能性も広がっている。また、「生涯活躍のまち」(P18【事業】欄の下から3番目)の観点からも、今後定年前や定年後の創業、女性の創業、若年層の創業などへのアプローチも有効となる。

是非創業支援事業の拡大、または補助金の活用、協働など多角的な手法で取組を前に進めてほしい。

#### **P6【事業】「中小企業振興事業」**

- ・小規模事業者は、ITリテラシー(知識、活用する能力)が追いついていない現状がある。この度のコロナ禍において、国への持続化給付金の申請にもインターネットを使った申請ができない、ホームページを持っていない、メール、SNS、オンラインができないなどの脆弱さが露呈したといえる。

今後は、ITリテラシー向上のためのサポート事業、さらにはDX(デジタルトランスフォーメーション※)への推進サポートを実施してもらいたい。

#### **※ DX(デジタルトランスフォーメーション)**

企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。(経産省HPより)

### **基本目標1 - (イ) 地場産業の活性化**

#### **P7【KPI】「七宝焼アートヴィレッジでの七宝焼教室参加者数」**

- ・七宝焼教室参加者数を地場産業の活性化の成果とするのは疑問。リピーターの少なさ、若年層、あま市民ですら興味関心が低いと感じる。

これらを改善するため、七宝焼教室等の企画、展示、発信方法のさらなる工夫、刷新が期待される。

### **基本目標1 - (ウ) 農業の振興**

#### **P7 基本的方向、P8【事業】「新規就農支援事業」**

- ・新規就農者の育成とあるが、市内には、新規就農希望者は非常に少ないと推測される。全国的な動きの中では、若手就農者が増えており、独自の農法や販売経路を確立するなど、6次産業化の動きも加速している。

耕作放棄地が増えているあま市では、既存農家の後継者というよりは市外からの新規就農者を誘致することが望ましいと考える。

### **P8【KPI】「農地中間管理機構を活用した集積農地面積」**

- ・上記「全体について」で記載の、目標の理由や目安、根拠を可視化してほしいKPIの一例。

### **P8【事業】「軽トラ朝市事業」**

- ・七宝焼アートヴィレッジの事業なのか？実際は、あま市内の農家だけでなく、市外の出店者も多いと聞く。また農作物だけでなく、加工品や手作り品なども販売している。あま市の農業振興事業であれば、もう少し内容の精査が必要と思う。

## **【基本目標2について】**

### **基本目標2 - (ア) 市の魅力の発信と知名度の向上**

#### **P9【KPI】「年間の転入者数」**

- ・上記「全体について」で記載の、目標の理由や目安、根拠を可視化してほしいKPIの一例。

### **基本目標2 - (イ) 観光まちづくり**

#### **P10【KPI】「七宝焼アートヴィレッジ来訪者数」**

- ・なぜ、七宝焼アートヴィレッジ来訪者数なのか？基本的方向で「様々な手法で」とあるのであれば、「観光イベント参加者数」というのも必要ではないか？

#### **P11【事業】「観光客誘致事業」**

- ・観光客誘致事業は、官民連携の観点で地域課題解決のお手伝いをしたい。

### **その他**

- ・観光客等誘致の一助になる施策（例えば各駅間と観光施設等との交通手段の確保、巡回バスの半額補助など）を提案したい。
- ・「美和高校地域活性化計画2020」を市、観光協会及び商工会との協力により次年度以降で予算を確保して実施したい。
- ・七宝焼まつりなどの実現（協力）をしたい。

## 【基本目標3について】

### 基本目標3 - (ア) 安心して子どもを産み育てることができる環境づくり

#### P12【KPI】「あま市・大治町広域ファミリー・サポート・センター事業提供会員数（あま市・大治町）」

- ・「提供会員数」は正しくは「提供会員および両方会員（依頼と提供の両方できる会員）」の合計となる。

### 基本目標3 - (イ) 学校教育体制の整備

#### P15【事業】「学校運営協議会運営事業」

- ・地域と密着した学校づくりは、メリットが多い反面、導入にあたり一部の教員の負担増加、地域の権限とのバランスに注意が必要。まずは教員全体が学校運営協議会（コミュニティスクール）について理解することが大切。

### 基本目標4 - (イ) 生きがい・活力を高めるまちづくり

#### P17【KPI】

- ・SDGsに絡めた指標として、「マンパワーを活かす」ことがSDGsの目標8「働きがいも経済成長も」に重なるのではないかと思う。特に「ターゲット8.3（生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。）」及び「ターゲット8.5（2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。）」あたりが対象となると思う。考えられるKPIとしては、「65歳（あるいは70歳）以上の雇用者数」などが考えられると思う。

#### P18【事業】「データヘルス計画事業」

- ・データヘルス計画事業は、官民連携の観点で地域課題解決のお手伝いをしたい。

#### P18【事業】「生涯活躍のまち推進事業」

- ・「生涯活躍のまち推進事業」とは？「生涯活躍のまちアドバイザーを養成し」とあるが、あま市独自でアドバイザーを養成するのか？

## 【基本目標 4】

### 基本目標 4 - (ウ) 持続可能な都市基盤の整備

#### P19【事業】「空き家等対策事業」

- ・ 空き家対策に力を入れ、空き家や空き店舗を活用して、テレワークのためのワーキングスペースを作るなど、空き家対策はいくつかの項目に関連すると思う。
- ・ 空き家対策事業は官民連携の観点で地域課題解決のお手伝いをしたい。

### 基本目標 4 - (オ) 郷土に誇りと愛着が持てる、魅力あるまちづくり

#### P21【KPI】「「あまつり」来場者数」

- ・ KPIの代替案として、「出展者側やスタッフの数」などかどうか。「運営者側あるいは主催側」に回る市民又は団体数が多いほど「あまつり」の目指している方向に近づいているということになるのでは。
- ・ KPIの代替案として、「あまつりへの協力団体数、事業者数」とか「協働によるイベント開催数」はどうか。

#### P21【KPI】「市民活動センター「あまテラス」登録団体数」

- ・ 「市民活動センター「あまテラス」登録団体数」よりも、今後は「団体との協働事業数」が望ましいのでは。  
特に協働ルールブック完成後は、これに基づいて、さらなる協働の推進や、協働による団体の成長も期待できる。協働＝積極的なまちづくりへの参加であり、まちへの愛着だと考える。

#### P21【事業】

- ・ 「地域コミュニティの活性化」の事業が見当たらない。現在市内のコミュニティ協議会は14しかなく、新たに増える動きがない。  
他市町ではコミュニティ協議会や地域コミュニティが確立されており、高齢者や子育て支援、防災、防犯など横断的な事業が加速的に進んでいる。  
そういう意味ではあま市の地域コミュニティは、いまだ旧態依然としていて遅れており、排他的でもある。特に甚目寺エリアでは町内会加入率が低く、市民の安全な防災対策などの担保はもとより、「愛着の持てる魅力あるまち」には、ほど遠いのではないか。  
地域の担い手（アクティブシニア）がいるうちに、ぜひともコミュニティ協議会の設立を積極的に推進する事業を加えていただきたい。

## **その他**

- ・地域の活動に、大学生・高校生の参加の機会が大幅に増え、若者と地域の関りが、必ず地域の活性化につながると思っている。令和3年度から美和高校地域活性化センターを設置するので、委員の皆様の御支援をいただきたい。

## **【その他について】**

- ・コロナ禍で書面会議となったが、オンライン開催も可能だと思うので、活力あるまちを実現するうえでも今後検討されたらどうか。